

■源融 公卿。左大臣24年も、実権は藤原氏で、余儀なく華麗な庭持つ大邸宅で風流の生活。光源氏モデル説も。
みなもとのとおる
最澄没・・・ 822＝ 正五位下大原真人全子を母に、嵯峨天皇の皇子に生まれる。源朝臣の氏姓を賜わり、臣籍に下った。
嵯峨上皇・・・ 823＝ 1歳：

・・・ 831＝ 9歳：

多数の賜姓源氏兄弟中で唯一人政治家としての才があったことから、

最後の遣唐使 838＝16歳：内裏において元服し、正四位下に叙せられ、天皇御筆の位記を賜わった。
遣唐使帰国終 839＝17歳：嵯峨天皇の命で、仁明天皇の侍従として初出仕、
・・・ 840＝18歳：
・・・ 841＝19歳：相模守、
承和の変・・・ 842＝20歳：近江権守などを兼任。

この間、旧儀の復活に強い意欲を見せる。

円仁帰国・・・ 847＝25歳：近江守を経て、
俘囚反乱始・・・ 848＝26歳：早くも、右近衛中将に任ぜられ、美作介を兼ねる。
・・・ 849＝27歳：
文徳天皇即位 850＝28歳：仁明天皇が死去する直前に異例の庇護で、従三位に進んで、右衛門督となり、

・・・ 856＝34歳：参議を拝命するが、
国守迫及始・・・ 857＝35歳：この年、非常な出世をしてきた藤原良房が人臣初の太政大臣となり、
人民摂政の実 858＝36歳：*清和天皇践祚とともに、良房が人臣初の摂政になって、嵯峨源氏の力は抑えられ、
・・・ 859＝37歳：正三位。
この間、陸奥国塩釜浦を模して海水を池に汲み入れた名園を持つ邸宅“河原院(東六条院)”を築造して住み、在原業平の兄行平らと風雅の交渉、嵯峨には“棲霞観”と称す山荘を所有して、清和上皇の御幸を仰ぎ、宇治には平等院のもとになる別業を有するほどであったが、
・・・ 863＝41歳：左衛門督に遷任。この年、大納言源定と大納言源弘がともに死去し、嵯峨源氏の凋落が一気に進む。
富士山噴火・・・ 864＝42歳：中納言に任ぜられるが、陸奥出羽按察使を兼任、源信・勤らとともに、反逆を起こそうとしているとの密告されたこともあり、閑居。
応天門の変・・・ 866＝44歳：*伴善男による画策で、嵯峨源氏トップ源信の力が削がれ、藤原基経が7人超えて中納言になり、
・・・ 867＝45歳：
・・・ 868＝46歳：源信が憤死してしまうなどしたことから、源氏の復活を企図するようになったと考えられる。
この間、義兄弟良房に窮地を救われ、
・・・ 870＝48歳：基経とともに、大納言となるが、

藤原良房没・・・ 872＝50歳：良房が死去すると、基経の格上げに付随し、賜姓源氏兄弟中で唯一人左大臣に進むが、実権は無く、
清和源氏始・・・ 873＝51歳：従二位に昇り、東宮博を兼任。
・・・ 874＝52歳：身体不調になった清和天皇が、大風雨による甚大な被害を見て、譲位を考えるようになり、

・・・ 876＝54歳：陽成天皇の即位で、基経が摂政になるに及んで、
・・・ 877＝55歳：正二位に叙せらるも、右大臣従二位基経より下という不自然な形に、解職してほしい旨、重ねて上表、さらに、陽成天皇の特異な性格もあって、全く出仕せず、

基経太政大臣 880＝58歳：*藤原基経が太政大臣となると、遂に嵯峨の山荘“棲霞観”に籠ってしまう。かつて清和上皇が水尾寺に仏堂造営のためにこの山荘に移ったとされ、「源氏物語」のモデルにもされるほどの隠遁の場であった。
この間、基経も性格異常の見られる陽成天皇への不満がつのって、
・・・ 883＝61歳：朝廷へ出仕しなくなり、
基経閑白の実 884＝62歳：基経が陽成天皇に譲位させ、光孝天皇が即位。菅原道真らによって、基経が新たに登場した閑白になり、
・・・ 885＝63歳：光孝天皇の代になるも、宮廷の年中儀礼などに関わるに過ぎなくなって鬱積、風流の道に赴く。

宇多天皇即位 887＝65歳：光孝天皇が譲位し、宇多天皇が即位、基経が阿衡の疑義を唱えて、出仕せず。多数の賜姓源氏の兄弟の中で唯一人従一位まで上り詰める。
閑白始・・・ 888＝66歳：宇多天皇の命で、橘広相・藤原佐世らの勘文によって阿衡の疑義を判じた。
・・・ 889＝67歳：賛車で宮中に入出することをゆるされ、
基経閑白辞任 890＝68歳：腰輿をゆるされ、

遣唐使廃止・・・ 894＝72歳：乗車をゆるされたが、
・・・ 895＝73歳：“河原院”で没した。正一位を贈られた。
没後、“河原院”は宇多法皇に献じられた。「古今和歌集」「後撰和歌集」などに、和歌が選ばれている。